

令和8年度 新刊図書一覧

4月新刊図書

1 『失われた貌』

著者：櫻田 智也

出版社：新潮社

ミステリ×人間ドラマの金字塔

【本屋大賞ノミネート(2025年)】

2 『夜があけたら』

著者：青波 杏

出版社：KADOKAWA

戦って、諦めて、もがいて、忘れようとして、傷ついて、傷ついていないふりをして、それでも、ここまで来た。

まだ続いている、わたしたちの物語。

3 『うた子と獅子男』

著者：古谷田 奈月
出版社：河出書房新社

夢もない、金もない。
与えられた身体ひとつで、人生を切り抜ける。
「うた子、走れ！」

4 『生きとるわ』

著者：又吉 直樹
出版社：文藝春秋

「生きる」とは、こんなにもやりきれなくて、
おかしい

5 『石破くん』

著者：橋 威智郎
出版社：文芸社

「普通に愚直に生きてきた」
ある男の成長と葛藤、そして彼を取り巻く人々との
ドラマ

5月新刊図書

1 『PRIZEープライズー』

著者：村山 由佳
出版社：文藝春秋

賞(prize)という栄誉を獐猛に追い求める作家・
天羽カインの破壊的な情熱が迸る衝撃作！
【本屋大賞 ノミネート(2026年)】

2 『暁星』

著者：湊 かなえ
出版社：双葉社

ただ、星を守りたかっただけ——
【本屋大賞 ノミネート(2026年)】

3 『さよならジャバウオック』

著者：伊坂 幸太郎
出版社：双葉社

その怪物はあなたの中にもいるかもしれない。
数々の謎を引き連れて想像のつかないラストに
たどり着く、著者渾身の長編ミステリー！
【本屋大賞 ノミネート(2026年)】

6月新刊図書

1 『大ピンチずかん ※全3巻セット』

著者：鈴木 のりたけ

出版社：小学館

誰もが経験したことがあるような大ピンチを「大ピンチレベル」の小さいものから順に紹介。あらゆる方向から大ピンチを解き明かす、ユーモアたっぷりの絵本です。ピンチはいつも思わぬところからやってくるもの。子どもも大人も、3冊あわせて読んで、突然のピンチに備えましょう！

【年間ベストセラー 総合第1位(2025年)】

2 『イン・ザ・メガチャーチ』

著者：朝井 リョウ

出版社：日本経済新聞出版

令和日本の空気と、うごめきを小説に封じ込め、人の心を動かす“物語”の光と闇を炙り出す。

【第23回 本屋大賞 受賞(2026年)】

【第2回 あの本、読みました？大賞第1位(2026年)】

【第9回 未来屋 小説大賞 第1位(2025年)】

3 『エピクロスの処方箋』

著者：夏川 草介

出版社：水鈴社

「医療では、人は救えないんだよ」

治せない病気は山のようにあるが、癒せない
哀しみはない。

思想する医師・雄町哲郎は今日も京都の街
をゆく――。

【第23回 本屋大賞 第4位(2026年)】